

URA研究戦略推進室の閲覧サービスに収録している複数の評価書の記載事項の観点を抜粋し、箇条書きに記載しています。評価書閲覧サービスを利用できない方は、こちらをご活用ください。

日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書

評価書作成者	氏名			
	所属機関名			
	部局名		部局種別	
	職名			
申請者との関係				
<p>申請者の研究における主体性、発想力、問題解決能力、専門知識・技量、コミュニケーション能力、将来性などについて。また、申請者の研究課題遂行能力及び我が国の学術研究の将来を担う人材となりうるかなどの資質について。</p>				
<p>1. 申請者および所属研究室の研究内容について</p> <p>① 目的（目指すもの）→実践・実績→課題・改善策→成果（社会的な貢献度や効果） →さらなる目標・計画</p> <p>② 課題解決・改善策のために必要な研究であること</p> <p>2.1.で掲げている成果や効果に向けての申請者の具体的な取り組みや行動評価</p> <p>申請者の研究への取り組み姿勢 記載例：（休日、昼夜を問わず取り組む姿勢等、知識欲が旺盛、研究論文読破数等）</p> <p>3.将来性のある研究人材であること</p> <p>① 申請者の能力、人間性等 記載例：（研究テーマの立案が申請者本人、課題探索能力、知的探求心、仮説提唱能力、強い意志と行動力、遂行能力、忍耐力、前向き等、）</p> <p>② 申請者の研究テーマが分野での重要テーマであり、将来この学術分野を担う人材に成長することの確信</p>				

申請者の研究者としての将来性を判断する上で特に参考になると思われる事項について。

(例：特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学外活動など。)

記載例：（：特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学外活動など）

1. 優秀な成績で入学（最上位での推薦入学等）、リーダーシップを発揮等、学内での事項、学業成績が優秀（具体的な数値）

2. 学術雑誌への掲載（雑誌名、掲載時期等）、留学先の大学での研究活動内容、語学力

（特に上記2点について、大学院への入学から研究室配属当初、現在までを時系列に記入しながら、具体例、数値を含め挙げられている項目等を記入している評価書が多い）

・その他研究内容等を含め評価書全体を通してわかりやすい文章で書かれている。

見本